

就労継続支援 B 型事業所「スマイル」の情報と地域の状況

事業所所在地 の環境及び地域 の地場産業	・人口は約8万人、人口の約30％は65歳以上の高齢者であり、人口の6％にあたる約4千6百人が障害者手帳を保持している。 ・県庁までは自動車です約1時間、近隣の都市圏までは電車で2時間30分程度、首都圏までは3時間30分程度かかる。 ・産業は、産業別人口約4万3千人のうち第1次産業（農業、林業、漁業）が約3％、第2次産業（鉱業、建設業、製造業）が約42％、第3次産業が約55％（小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療・福祉業、金融業、情報通信業等）であり、第2次産業が県内市町と比較しても多い地域である。 ・隣接する市町も含め、漆器・和紙・刃物・箆笥・焼物・眼鏡・繊維と 7 つの地場産業が集積している。また、上記の伝統産業以外にも、電子部品などの先端技術産業に至るまで幅広い産業が集積し、製造品出荷額が県内第一位の産業都市となっている。繊維業については、停滞しているものの、電子技術産業は緩やかな伸びを続けている。第3次産業については、多くの業態で堅調の状況ではある。どの業態においても人手不足は顕著であり、それに比例するかのようにより外国人労働者が増加傾向となっている。 ・公共交通機関は地元の鉄道、行政バスがあるが、自動車が移動手段の中心である。	
地域の社会資源 の状況	障害福祉サービス事業は、就労継続支援 A 型・B 型、生活介護、生活訓練、就労移行支援の各事業が整備されている。 相談窓口として、委託相談支援事業所が2ヶ所、特定相談事業所12ヶ所があり、障害者職業センター、障害者就業・生活支援センターは近隣の市にある。	
事業所の概要	就労継続支援 B 型事業 定員20名 現在の利用者は、身体・知的・精神など多様な障害種別の人が利用している。 グループホームからは自転車です15分の距離である。	
職員構成	管理者 1名(60代女性) サービス管理責任者 1名(40代男性【川瀬】) 職業指導員 3名(40代女性、60代男性、20代女性) 生活支援員 2名(30代女性【三口】、30代男性)	
日 課	＊平日 9:30～16:00 ＊土日祝日は休所	
主な作業内容	作業内容	工賃の状況
	カフェ(接客、皿洗い、調理補助等)	時間 150円 ～ 200円
	軽作業(部品の選別、計量、梱包作業)	時間 100円 ～ 150円
	施設外就労 (近所の運送会社での倉庫内作業・袋詰め作業)	時間 300円 ～ 350円